

学校評価(教職員による自己評価と保護者の評価)の集計 令和4年度米沢養護学校長井校

評価基準 4 良い 3 ほぼ良い 2 やや改善 1 要改善 で教職員(19名)保護者(23名)で評価しました。
結果は、評価基準を得点化して平均値で表しています。最高値は4点です。

教職員の結果が

①	教職員： 児童生徒を真ん中に置き、児童生徒の人格と主体性を尊重した教育を推進していると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 3.4 今年度, 3.2	保護者： 長井校は、子どもを真ん中に置いた教育を推進していると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 保護者 昨年度, 3.8 今年度, 3.9	(前年度より得点が下がった項目に対して)向上に向けて (前年度より得点が上がった項目に対して)今後に向けて ・児童生徒を「さん」「くん」づけて呼ぶ。 ・人格と主体性について、みんなで話すことが必要。 ・実態把握の結果を有効に活用する。 ・教員同士が良い関係であり、気持ちにゆとりを持つ。
②	教職員： 一人一人の実態を的確に把握し、個別の指導計画、個別の教育支援計画に基づいた指導・支援の充実を図り、適切な評価の下、PDCAサイクルを積極的に回して更なる指導・支援の改善に取り組んでいると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 2.9 今年度, 3.0	保護者： 一年間の支援方針をもとに、一人一人に応じた支援が行われていると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 保護者 昨年度, 3.9 今年度, 3.9	・教務部と学習支援部(学校研究)を中心に、授業記録簿の活用、個別の指導計画の整理を継続。 ・自立活動の実態把握表を用いた客観的な実態把握を継続。
③	教職員： 教職員が各々の得意分野や専門性を生かし、協働して児童生徒に必要な資質・能力を育成していると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 3.3 今年度, 3.1	保護者： 学級担任を中心として、組織的に学級経営がなされていると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 保護者 昨年度, 3.8 今年度, 3.7	・チームで話し合う場を上手く活用する。 ・何でも話せる職員室、働きやすい雰囲気にする。 ・先生方の貴重な教育財産を共有する手段を確立する。 ・教材研究や研修をする時間の確保。 ・人材の配置を考慮する。
④	教職員： 学びの連続性を意識した教育課程の編成と、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行っていると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 2.9 今年度, 2.8		・教科学習を取り上げた学校研究の継続。 ・知的障害者用教科書(★本)と学習内容表(長井校版)を参考に、3観点における目標や評価基準の検討。
⑤	教職員： 「社会に開かれた教育課程」を追求し、保護者・地域・関係機関等との連携を密にして効果的な教育活動と信頼される学校づくりを推進していると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 3.6 今年度, 3.4	保護者： 児童生徒や保護者、地域、関係機関から信頼される学校づくりをしていると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 保護者 昨年度, 3.6 今年度, 3.8	・学校活動を校外に発信する。 ・地域と連携した学習活動を今後も継続していく。 ・教職員同士の交流が必要
⑥	教職員： 自立と社会参加に向けたキャリア教育と進路指導を推進していると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 3.1 今年度, 3.0	保護者： 将来の社会参加と自立に向けて、お子さんに合った支援がなされていると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 保護者 昨年度, 3.7 今年度, 3.8	・「進路だより」による保護者への進路情報の発信および進路指導の実施。 ・教員向けの進路研修会の実施。 ・キャリア教育系统表(長井校番)の活用。

⑦	教職員： ICTの更なる活用の促進と心とからだの教育、情報教育の推進をしていると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 3.2 今年度, 3.2	・ICT機器を用いた学級の取り組みを校内で共有。 ・教員の使用スキルの向上。
⑧	教職員： 豊田小等との連携と交流及び共同学習は充実していると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 3.0 今年度, 2.6	保護者： 豊田小等との連携、交流及び共同学習（居住地校交流）が充実するよう取り組んでいると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 保護者 昨年度, 3.4 今年度, 3.5 ・豊田小と長井校の教職員同士の交流を深める。 ・日常的な交流をする。 ・交流の成果をまとめる。
⑨	教職員： 西置賜地域における特別支援教育のセンター的機能が充実していると思いますか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 3.5 今年度, 3.5	・特定の教員に負担が偏らないようにした人員の配置、役割分担。 ・相談業務を担うことができる人員の育成。
⑩	教職員： 分かる授業、できる授業に取り組んできましたか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 3.3 今年度, 3.4	保護者： 分かる授業、できる授業に取り組んできましたが、いかがでしたか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 保護者 昨年度, 3.7 今年度, 3.8 ・学級単位ではない課題別、上下学年グループでの学習など、児童生徒の実態に応じた形態での学習を推進。
⑪	教職員： 発達段階や年齢に応じた支援を心がけてきましたか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 3.5 今年度, 3.3	保護者： 発達段階や年齢に応じた支援を心がけてきましたが、いかがでしたか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 保護者 昨年度, 3.8 今年度, 3.9 ・教職員間で言い合える関係性が必要。 ・生活年齢を常に意識した支援を行う。 ・子どもの将来を意識した支援を行う。 ・社会から見られる視点を持って支援を行う。 ・研修の必要性。
⑫	教職員： 児童生徒のサインや意思表示を大切にしてみてくださいましたか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 3.7 今年度, 3.6	保護者： 児童生徒のサインや意思表示を大切にしてみてくださいましたが、いかがでしたか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 保護者 昨年度, 3.8 今年度, 3.9 ・教員は、児童生徒をしっかり観察する。 ・教員は、ゆとりをもって子どもをみる。 ・教員は、日常的に子どもの話しをする。 ・教員は、子どもの気持ちを常に尊重する。 ・複数の教員の目で子どもの行動をキャッチする
⑬	教職員： 「えがお（個別の指導計画）」は分かりやすい内容を目指しましたか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 教職員 昨年度, 3.2 今年度, 3.2	保護者： 「えがお（個別の指導計画）」は分かりやすい内容でしたか。 ■ 昨年度 ■ 今年度 保護者 昨年度, 3.7 今年度, 3.9 ・評価にかかる時間を前期と後期の年2回の評価にしたことで拡充。（長期休業中に児童生徒の姿を振り返り、丁寧に評価する時間を設ける）

⑭	教職員： 学校と医療や福祉関係機関との連携を十分に図ってきましたか。(教職員のみ) <table><tr><th>年度</th><th>得点</th></tr><tr><td>昨年度</td><td>3.2</td></tr><tr><td>今年度</td><td>3.2</td></tr></table>	年度	得点	昨年度	3.2	今年度	3.2	・学校医への情報提供と児童生徒の心体上に生じた課題に対して相談し助言をいただく関係を構築している。 ・福祉関係機関への学校だよりの配布等による情報提供を定期的に行う。
年度	得点							
昨年度	3.2							
今年度	3.2							
⑮	教職員： 全職員が学部経営・学校経営に積極的に参画してきましたか。(教職員のみ) <table><tr><th>年度</th><th>得点</th></tr><tr><td>昨年度</td><td>2.8</td></tr><tr><td>今年度</td><td>3.1</td></tr></table>	年度	得点	昨年度	2.8	今年度	3.1	・丁寧な説明と意見の集約。 ・全教員が意見を出し合い検討しあえる、職員関係。 ・主任会の回数を増やし、全体の意見を集約しやすいようにした。
年度	得点							
昨年度	2.8							
今年度	3.1							
⑯	教職員： 専門性の向上を目指して研究・研修等に取り組んできましたか。(教職員のみ) <table><tr><th>年度</th><th>得点</th></tr><tr><td>昨年度</td><td>3.3</td></tr><tr><td>今年度</td><td>3.2</td></tr></table>	年度	得点	昨年度	3.3	今年度	3.2	・オンライン研修に参加した教員が得た成果の周知方法の改善。 ・他校の授業を見合う機会を増やす。
年度	得点							
昨年度	3.3							
今年度	3.2							
⑰	保護者： お子さんは、学校に登校するのを楽しみにしていますか。(保護者のみ) <table><tr><th>年度</th><th>得点</th></tr><tr><td>昨年度</td><td>3.5</td></tr><tr><td>今年度</td><td>3.9</td></tr></table>	年度	得点	昨年度	3.5	今年度	3.9	
年度	得点							
昨年度	3.5							
今年度	3.9							